

役員体制 【理事・監事】



代表
CEO
王 貞治

福岡ソフトバンクホークス株式会社取締役会長、財団法人世界少年野球推進財団理事長
日本プロフェッショナル野球組織コミッショナー特別顧問
早稲田実業から読売巨人軍に入団。本塁打王15回。2年連続三冠王。1977年9月3日に本塁打世界新記録756号、生涯通算本塁打868本。巨人軍監督、福岡ダイエーホークス（現福岡ソフトバンクホークス）監督を歴任。リーグ優勝3回、日本シリーズ優勝2回。2006年に第1回ワールド・ベースボール・クラシック日本代表監督として日本を優勝へと導いた。1990年より世界少年野球大会を主宰し、少年野球の世界的な指導・普及活動等を通じてスポーツ振興や青少年育成に努めている



副代表
Deputy CEO
栗山 英樹

1961年、東京都生まれ。創価高校、東京学芸大を経て84年ドラフト外でヤクルトスワローズへ入団。89年にゴールデングラブ賞を獲得し、90年シーズン限りで現役引退。引退後はスポーツキャスター、白鷗大教授などを歴任。2012年に北海道日本ハムファイターズの監督に就任。2021年まで10年間、指揮を執りパ・リーグ優勝2度。2016年には日本一に輝き、正力松太郎賞を受賞。2022年から野球日本代表「侍ジャパン」トップチームの監督を務め、2023年の第5回ワールド・ベースボール・クラシックで3大会ぶりの優勝を果たした。2024年に北海道日本ハムファイターズのチーム編成と運営の最高責任者となるチーフ・ベースボール・オフィサー（CBO）に就任



専務理事
COO
梅原 美樹

1976年、岩手県花巻市生まれ。1999年、日本アイ・ビー・エム株式会社に入社。SI・システムコンサルティングに従事した後、本社部門にてM&A、Business Development等を担当。2007年、株式会社経営共創基盤（現：株式会社IGPIグループ）に創業当初より参画、企業変革・成長支援、M&A・PMI支援、地方創生支援、投資・事業経営等、数多くの案件を担当・統括。上場企業の社外取締役や政府系会議の委員も務める



理事
川名 正憲

ファナティクス・ジャパン合同会社 代表（マネージング・ディレクター）
慶應義塾大学法学部卒業後、三菱商事株式会社、ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院修士、2013WBC日本代表広報担当、マッキンゼー・アンド・カンパニー等を経て現職。一般財団法人スポーツエコシステム推進協議会理事。高校・大学時代は体育会野球部主務を務める



監事
荒牧 知子

荒牧公認会計士事務所所長（公認会計士・税理士）、センチュリー（現EY新日本有限責任）監査法人、経済産業省（出向）、日本アイ・ビー・エム株式会社勤務を経て現職。エクシオグループ株式会社 社外取締役、TREホールディングス株式会社 社外取締役監査等委員、アステラス製薬株式会社 社外取締役監査等委員、公益財団法人ケア・インターナショナル ジャパン 監事、総務省情報通信審議会委員、総務省国立研究開発法人審議会専門委員他

役員体制【評議員】※五十音順



岡田 武史

株式会社今治 夢スポーツ 代表取締役会長
公益財団法人日本サッカー協会 副会長
FC今治高等学校 学園長



内藤 雅之

全日本野球協会（BFJ）副会長・専務理事



中村 勝彦

長野県出身、日本体育大学 体育学部卒業、現職：一般社団法人日本野球機構 事務局長
1994 年 1 月 社団法人日本野球機構 コミッショナー事務局 入局、2014 年 10 月 国際部部長、2019 年 4 月 野球運営本部長、
2023 年 2 月 野球統括本部長、2023 年 11 月 事務局次長（兼務 野球統括本部長）、2025 年 1 月 事務局長（兼務 会長室室長、
野球統括本部長）



南 壮一郎

ビジョナル株式会社 代表取締役社長
米タフツ大学卒業後、モルガン・スタンレー証券に入社。2004年、楽天イーグルスで新プロ野球球団設立に携わった後、2009
年、ビズリーチを創業。2020年、Visionalとしてグループ経営体制に移行後、現職に就任。
丸紅 社外取締役、New York Yankees オーナーグループ パートナー、八ヶ岳農業大学校 理事長



山田 博子

全日本女子野球連盟 会長（代表理事）、全日本野球協会 常任理事
世界野球ソフトボール連盟（WBSC）女子野球委員会 委員長、日本ソフトボール協会 理事
野球殿堂博物館 評議員、情報経営イノベーション専門職大学（iU）客員教授